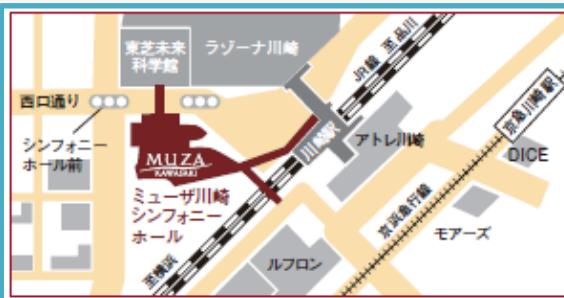


このパンフレットは...

ミュージア川崎シンフォニーホールや、音楽のことをあまり知らなかったり、興味のない人に向けてもっと音楽を身近に感じてもらうために作られました。

今回、12/10にミュージア川崎シンフォニーホールで行われたオペラ「ドン・ジョヴァンニ」の演奏会形式公演を題材にしています。このパンフレットを作った私たちは、このパンフレットを見て、ミュージア川崎シンフォニーホールで行われるコンサートを聴いてみたいと興味を持ったら、裏面にこれからのコンサート予定を載せています。また、このパンフレットを作成したリトルミュージアについても載せているので、そちらもぜひ見て下さい。

ミュージア川崎シンフォニーホールへのアクセス



〒212-8557
神奈川県川崎市幸区大宮町
Tel:044-520-0100(代)
Fax:044-520-0103

URL: <http://www.kawasaki-sym-hall.jp>

ミュージア川崎シンフォニーホールについて

2004年に「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして完成しました。クラシック中心の約2000席を持つ、世界最高クラスのホールです。ホールだけでなく、建物の中には、マクドナルドやコンビニなどがあり、コンサートの後や前もミュージア川崎で、楽しむことができます。

モーツァルトについて

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756~1791)

オーストリア・ザルツブルクに生まれた宮廷作曲家、ヴァイオリン奏者の父レオポルドに音楽教育をほどこされ、5歳で初めて作曲をする。6歳にはウィーンで演奏会デビュー。ザルツブルク大司教に仕え、就職活動のために親子で、ヨーロッパを旅する。イタリア旅行は3度におよんだ。1781年ウィーンに移住し1782年コンスタンツェと結婚。ドンジョヴァンニは、1787年に作曲された。これは、モーツァルトが作曲したオペラの2作目にあたる。1788年三大交響曲を作曲した。1791年魔笛を初演後、レクイエム作曲中に35歳で亡くなった。



ドン・ジョヴァンニのあらすじ

第1幕

...17世紀のスペイン。伝説のドン・ファン、希代の女たらしと謳われるドン・ジョヴァンニは、ドンナ・アンナを誘惑する為に彼女の屋敷に忍び込むが、彼女に騒がれ、駆け付けたドンナ・アンナの父親である騎士長を殺害してしまう。従者であるレポレロの助言も聞かずに、ドン・ジョヴァンニは新たな恋を求め、結婚式の最中であつた純真な村娘のツェルリーナを誘惑するが、かつて捨てた女のドンナ・エルヴィーラに見つかり邪魔をされる。

第2幕

さらなる恋を求め、ドン・ジョヴァンニはドンナ・エルヴィーラの女中に狙いを定め、従者レポレロと服を交換し近づき、レポレロになりきり誘惑。ドン・ジョヴァンニの服を着せられたレポレロは、ドン・ジョヴァンニに恨みを抱くドンナ・エルヴィーラ、村娘のツェルリーナ、そして父・騎士長を殺され復讐の念を抱くドンナ・アンナらに見つかり、ドン・ジョヴァンニ本人と勘違いされて窮地にたたされるが、危うく難を逃れる。人々の身と心を混乱させ、傷つけながらも順風満帆に「女性」と「人生」を謳歌するドン・ジョヴァンニであつたが、偶然にも墓場で出会い、その後、晩餐にやってきた、かつて殺害した「喋るはずのない」騎士長の石像に「人生を悔いあらためよ、ならば地獄のような苦難が待っているぞ」と悔悛を執拗に迫られる。恐れながらも断固として激しく拒否をするが、はたしてドン・ジョヴァンニの運命は...?

ドン・ジョヴァンニ 指揮者 ☆ジョナサン・ノット☆ ☆インタビュー☆

12月10日ミュージア川崎シンフォニーホールで上演された「ドン・ジョヴァンニ」の指揮者、ジョナサン・ノットさんにドン・ジョヴァンニの魅力から、自身の指揮者になったきっかけなどを、インタビューしました!!

Q ドン・ジョヴァンニの魅力をお話下さい。

A ドン・ジョヴァンニは悪い事をしたから、地獄に行くべきだったか、それとも自分の気持ちに正直だったか、観ている人に問いかけている、考えられる物語。それが魅力だと思います。

Q 指揮者になったきっかけは何ですか？

A 僕は子供のころ、教会の合唱団にいました。この合唱団は本格的で、僕も歌手になりたいと思っていました。でも、僕の声はあまりいい声ではありませんでした。そんな中合唱団の友達に、「ピアノの伴奏やって！」と言われて、歌の伴奏をやっていました。ぼくは、ドイツのフランクフルトでピアノ伴奏から始めました。ある時「指揮者やってみないか？」といわれて指揮をするようになりました。そうして、気がついたらぼくは指揮者になっていました。指揮者になるぞ〜!!と一生懸命勉強した覚えはありません！

Q 曲が決まったら、まず何をしますか？

A まずは、スコア(楽譜)を注意深くよく読みます。全体でまとまって始めて一つのものができるので、全部のパートをまとめて、お話をお客さんに語りかけて伝えられるように、第1音から、最後の音まで僕がみんなを引っ張っていけるように練習します。

Q 今まで指揮をやってきて難しかった曲は？

A 難しい曲は二種類あります。一つ目は、構造が複雑な曲。例えば「春の祭典」。二つ目は、独特な雰囲気を出す曲。不思議な世界を表現する「ブルックナー交響曲」はお客さんをグッと引き込んでいけるような指揮するのが難しいです。

ジョナサン・ノット

イギリス生まれ。ドイツのフランクフルトとヴィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン交響楽団首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、アンサンブル・アンテルコンタンポラン音楽監督、ドイツ・バンベルク交響楽団首席指揮者を、2017年1月よりスイス・ロマンダ管弦楽団の音楽監督を務める。その抜群のプログラミング・センスに加え、古典から現代曲まで幅広いレパートリーを誇り、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響等のオーケストラ、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、BBCプロムス等の音楽祭へ客演している東京交響楽団へは2011年10月定期演奏会でデビュー。この共演が決定的となり、翌2012年10月には次期音楽監督の就任を発表。2014年度より東京交響楽団第3代音楽監督を務める。



ミュージア川崎のこれからのコンサート予定

ミュージア川崎シンフォニーホール

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

	公演日	開演時間	公演名
1月 January	13日(土)	14:00	ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第113回
	24日(水)	12:10	MUZAランチタイムコンサート宗教改革500年!オルガンの響きで聴く歴史が動いた瞬間
	30日(水)	19:00	MUZAスペシャルナイトコンサート90 (ロマンティックナイト)
2月 February	17日(土)	15:00	ホールアドバイザー松居直美企画オルガンの未来へIV
	21日(水)	12:10	MUZAランチタイムコンサート 和と洋の琴による癒しの世界
		19:00	MUZAワインBAR 和と洋の琴が紡ぐ夜
	25日(日)	14:00	ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第134回
3月 March	3日(土)	11:00	モーツァルト・マチネ 第32回
	11日(日)	調整中	第五回 被災地復興支援コンサート
	18日(日)	14:00	ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第135回
	25日(日)	15:00	第七回 音楽大学フェスティバルオーケストラ
	26日(月)	12:10	MUZAランチタイムコンサート 音楽室の楽器が奏でる名曲



このパンフレットは「リトルミュージア」が作成しました。



▶ 活動の詳細は公式サイトをご覧ください。
<http://Kawasaki-sym-hall.jp/littlemuza/>



リトルミュージアとは

本年度より発足した、子どもの企画チームです。ミュージア川崎シンフォニーホールのコミュニティ・プログラム経験者(小学生~高校生)から構成されています。今期はオペラ「ドン・ジョヴァンニ」を題材にし、ターゲット毎に4チームに分かれ、このパンフレットの他、公演当日に配布したパンフレットの作成、ジョナサン・ノットへのインタビュー動画作成、託児室見学会、SNSを使用したキャンペーンなど、各グループ様々な活動を行っています。

私たちはリトルミュージアです。

このパンフレットは、音楽やミュージア川崎シンフォニーホールをあまり知らなかったり、興味のない若者をターゲットとしています。

しかし、若者だけでなく、ぜひ手に取って読んでみてください。

そしたら、きっと「音楽を聴きたい!」「ミュージア川崎シンフォニーホールに行ってみよう!」と、うずうずしてくると思います。